

高知県商工団体連合会 NO.838(50-22)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ http://kosityoren.web.fc2.com/

このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

須崎 JA まつり 会場で署名活動

■秋の運動・拡大状況 (11/25)

	拡大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	2	0	0	1	0	2
香美郡	7	2	2	2	0	6
南国	6	1	4	2	0	3
高知	16	3	3	4	3	7
仁淀川	4	0	0	1	0	3
須崎	2	1	0	1	0	1
中村	8	0	4	0	0	5
計	45	7	13	11	3	27

成果会員：読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

全商連第53回総会の挨拶で、太田義郎会長は、「共同の時代」とは業者である民商だけでなく、さまざまな市民の方々、ママの会、市民連合や業界団体、JA、漁協、労働組合などの人だちと共同の力を発揮し、私たちの要求を実現し

「消費税10%増税中止」・「家族農業を守るう、農業政策の転換を」：の署名
赤ちゃんを抱いた若いお母さん、「消費税の増税で子育てが大変に」「頑張りましょう」と怒りの署名。

消費税70名・家族農業70名

11月18日(日)JAまつり会場(JA本所)で、JA土佐くろしお(森光幹男組合長)・県農民組合(森田収三組合長)・須崎民商(岩井優之介会長)が、共同で、「消費税10%増税中止」と「家族農業を基調とする農業政策の転換を」の署名と「パネル展」を行いました。三者共同の取組は今年で6回目の行動です。



署名中の皆さんと消費税パネル

ていこう。と述べています。須崎民商も「共同時代」の一步を踏み出しています。それは、民商・JA・農民組合が、消費税中止署名等の三者共同の取組は、一点共同として重要であり、農業や国民の暮らしを守るうえで大きな意義をもつものです。(来年度も取り組むことで合意しています)署名の中で▽「安倍首相は来年10%への増税分は子育て支援に使うと言っていたが本当？」との質問が出され、消費税は「社会保障のため」と導入されたが、この間、年金など社会保障の給付は削られ負担は増えていること▽大阪から帰省している子育て中の若いお

県婦協第37回総会での学習講演

オール沖縄のたたかいに学ぶ ②

小橋則通さん(年金者組合)

オール沖縄は保革を越え政治を動かす戦線に

オール沖縄による知事選は、「基地はいらない!・基地をはさんで県民がいがみ合う不幸はもう終わりにしようね」「誇りある豊かさを沖縄に」この合言葉が沖縄の誇りある未来をひらく共通の合言葉となり、10万票の大差をつけ翁長雄志知事の誕生、衆院選での完勝、へと発展しました。

それに恐れをなした安倍自公政権は強権を発動し沖縄の民意を踏みにじり不法な新基地建設を強行し、オール沖縄を分断・壊滅させようと襲い掛かってきましたが、そのもくろみはことごとく失敗し惨めな敗北を喫しました。

それが、2018年沖縄県知事選挙をはじめとする県都那覇市長選、豊見城市長選でのオール沖縄の歴史的な勝利です。

この勝利は沖縄県での出来事にとどまらず日本の未来に明るい展望を切り開き、全国のたたかいに勇気を与えてくれる快挙だと思います。

沖縄に続け! 沖縄のようにたたかおう!

沖縄は政治を変える典型—ここに未来が

政治を変えるたたかいは沖縄も全国も同じだと思います。

みんなの思いを寄せ合い、それぞれの過去は問わず、未来ある若者を大切に、信頼しあって共通の願いで共同して力を合せば政治を変えることができることを沖縄が実証したと思います。

沖縄のたたかいのさらなる発展を願って!



消費税学習会

(11/26 会報あき)

母さんは、子どもをだき抱えながらの署名でした。最後に「共に頑張りましょう」と嬉しい対話でした。
▽「インボイス」について分からん?。チラシで説明すると「少しわかった」と署名。
▽軽減税率でも「物価が上がるのでは」と心配している」と語りながら署名。
須崎民商と農民組合須崎支部は11月9日、JA土佐くろしお(森光幹男組合長)を訪問し、2署名への共同の取り組みを申し入れ、矢野俊二専務理事と和やかに懇談しました。

矢野専務理事は「農業を基調とする農業政策の転換が必須」と述べた。
◆安芸 秋の班会開催
◆室戸班会
11月19日(月)、室戸市保健福祉センター会場、4名の参加で開催。A会員さんが知り合いの業者を誘って参加。DVDの視聴の後、商工新聞号外を見ながら消費税増税・複税率・インボイス制度について説明。「まったく弱い者いじめや」「インボイス制度で消

要、消費税は賛否があるが、10%になると、生産者にとつて大変になる」と述べられ、今年もJAまつりで、2つの署名を行うことで合意していった。(11/26 須崎民商だより)
◆安芸班会
21日(水)ケアハウス安芸会場、6名の参加。DVDの視聴の後、商工新聞号外を見ながら消費税増税・複税率・インボイス制度について説明。インボイス制度についてはひどい制度としては大まか理解できたが、まだまだきちんと頭に入っていないと理解しきれず、次の学習機会を設けてほしいとの要望も出た。意見交流では就学援助や学校のエアコン設置に至るなど、社会保障やくらし支援の貧弱な自民政治に批判の音一見が続出。消費税増税への反対の世論を高める運動が必要との意見や、これほど大事な学習なのに参加が少ないことへの憂いの意見とともに「私は民商の班会は色々なことが勉強できるので最優先して参加している」という会員もいた。